



出発式の参加者たち

中学生が被爆地を訪問

折り鶴平和プロジェクト

市民が平和への願いを込めた折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」。今年はその一環として、市内の中学生11人で「折り鶴平和使節団」が結成され、千羽鶴と一緒に出発式が8月2日、市役所で行われました。ボランティアの手で千羽鶴に束ねられた折り鶴は、出発式に参加した人たちの手で段ボールに詰められ広島・長崎へと出発。見送った団員の1人は、「現地では分からないことを学び、学校の人に教えたい。」と決意を述べました。使節団は8月8日～10日に長崎市を訪問し、9日に同市で開催された「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」で千羽鶴を供えました。



みんなの思いが届きますように



フクロウがいるよ

壁画アートが完成

加良部1丁目地下道

市内の小中学校の子どもたちが中心となって、7月27日～8月4日、加良部1丁目緑道にある地下道で壁画の作成が行われました。トンネルには富士山や四季のイメージ、桜など8種類のカラフルな絵画が完成。トンネル内部の雰囲気明るくすることにより、防犯の効果が期待できます。

手描きで思いをしたためる

夏休み親子絵手紙教室

子どもたちに絵手紙の楽しさを知ってもらおうと「夏休み親子絵手紙教室」が8月3日、大栄公民館で開かれました。絵手紙とは、身近にあるものをモチーフにはがきに絵を描き、余白の部分に短い文章を添えたもの。参加した親子20人は、カボチャやナスなどの野菜や、いろいろな形をした葉っぱなどを題材に、筆で絵を描き、「暑さに負けないで」など、思い思いにメッセージをしたためていました。



気持ちを込めて丁寧に



全国大会出場を報告

加良部小学校チームが健闘

スナッグゴルフ対抗戦全国大会出場

ゴルフの基本技術を学ぶために考案され、子どもから楽しめる簡易版ゴルフといわれるスナッグゴルフ。その全国大会が8月17日、仙台ヒルズゴルフ倶楽部(宮城県仙台市)で行われ、加良部小学校チームが出場しました。7月に行われた千葉地区予選会で優勝し、全国大会出場の切符を手にした選手たち。8月5日には選手と保護者・先生らが市役所を訪れ、出場を報告しました。大会では、出場23チーム中15位という成績でした。

楽しみながら学ぶ

親子科学実験教室

親子で科学に親しんでもらおうと「親子科学実験教室」が8月3日、中央公民館で開催されました。27組54人の参加者は「ガウス加速器パチンコ」などの製作に挑戦。ガウス加速器パチンコとは、金属が磁石にくっつく性質を利用したパチンコ。磁力に引かれてパチンコ玉が磁石に衝突すると、反対側に並んでいたパチンコ玉が勢い良くはじき出されます。この仕組みを利用して作ったパチンコで、子どもたちは何度も玉を転がして遊びました。また作業中には、不思議に感じたことがあると講師陣に質問するなど、科学への関心を深めたようでした。



手作りのパチンコに興奮



強力な磁石を利用した
ガウス加速器パチンコ



シルクの布が結ばれて出現



講師(左)がマジックのこつを伝授

簡単に不思議を演出

マジック入門教室

初心者にも気軽にマジックに親しんでもらおうと「マジック入門教室」が8月3日、玉造公民館で行われました。この日のマジックは、円すい状に丸めた新聞紙に2枚のシルクの布を入れ、その布を取り出すと、布が3枚になっ

てつながって出てくるというもの。参加者の1人は「孫にマジックを見せたくて参加しました。マジックの完成度を高めて孫を驚かせたい」と話して、何度も練習していました。